

日本分光学会関西支部 令和元年度 第3回幹事会 議事録

日時：2020年3月4日(水)12:00-13:30

会場：京都大学大学院工学研究科 CクラスターC3棟 大講義室(b1N01 室)

出席者(敬称略)：

蓮尾昌裕、中田靖、村木直樹、森澤勇介、森田成昭、山口亨、細川千絵、熊崎茂一、笠原俊二、
右近寿一郎、坪内雅明、下赤卓史

オブザーバー：谷正彦

議題：

0. 前回議事録確認

11月27日に行われた幹事会の議事録を確認した。

1. 支部規約の改定

蓮尾支部長より支部規約改定についての趣旨説明があった。主な変更点は下記である。

- ・ 日本写真学会関西支部が無くなったことに伴って光学五学会が光学四学会に変更されること及び、各団体の現在の法人格との整合に伴う修正
- ・ これまで記載の無かった会計幹事に関する記載の追記

2. 本部理事会報告

蓮尾支部長より1月30日に開催された本部理事会の報告があり、関連して審議を行った。

- ・ 会員が入会は正会員1名、協賛企業1名に対して、退会が正会員26名、協賛企業1社、シニア会員5名、学生会員6名で大幅に減少している。理由としては退職や所属部署変更等。正会員の26減はインパクトが大きい。ぜひ、入会について近くの方に声掛けしてほしい。
- ・ 今年が代議員選挙を行う年になる。支部選挙管理委員としてこれまでお願いしていた森田先生から下赤先生への交代について説明があり、承認した。
- ・ 5月の定時総会に向けて、支部に代議員の推薦依頼がある。

代議員選挙規定の第6条の代議員数を算出する式が不正確と思われるので、17日の理事会で確認する。

3. 令和元年度事業報告及び決算報告

幹事会資料2により庶務幹事及び会計幹事より説明があり、支部総会にかけることを承認した。

- ・ 光学四学会については、コロナウイルス対策のため延期となった。日本分光学会関西支部としては尾崎先生にご講演頂く予定だった。光学四学会役員の中でも延期について議論があり、結果として企業の参加者が減っていく中で、会場となる大阪電気通信大学も借りられないということになったので、延期せざるを得ない状況となった。

- ・ 光学四学会の会計が0円となっている。これまで会計担当であった日本写真学会関西支部が無くなったため、日本光学会関西支部に会計を担当頂くことになった。日本光学会関西支部の会計年度が1月から12月までとなっているので、現時点では延期された今年度の光学四学会の講演会については予稿集の費用は発生しているが、日本分光学会関西支部の令和元年度の費用には入ってこない。来年度支出が増えるので、それを見込んだ計画としたい。

4. 令和2年度事業計画及び予算

幹事会資料3により庶務幹事及び会計幹事より説明があり、支部総会にかけけることを承認した。

- ・ できる限り講演会には参加してもらって会員になっていただく方が良いので、令和2年度も参加費は求めないことにした。

5. 令和2年度支部支部長・幹事・役員について

幹事会資料4により蓮尾支部長より説明があり、支部総会にかけけることを承認した。

- ・ 本部から代議員の推薦依頼が来た際には、幹事を全員推薦したい。関西支部に割り当てられる代議員数は幹事数を超える見込みなので、代議員推薦のメール審議の際は代議員となる方の推薦をお願いしたい。

6. 行事予定

(1) 令和2年度第1回講演会・見学会(6～7月)

Spring-8 で開催することで吉越幹事からはご承諾を頂いている。講演者については未定の状況。東京大学の原田先生(Spring-8 常駐)に村木庶務幹事から打診する。原田先生が難しいということになれば、坪内庶務幹事推薦のジェームスハリーズ先生に打診する。

(2) 令和2年度第2回講演会・見学会(11月ごろ)

候補としては、三菱電機、日亜化学。日亜化学の場合には、徳島なのでバスを日亜化学から出していただければ可能だが、行程の中に幹事会をセッティングする必要がある。その他、未来 ICT 研究所、大阪大学レーザー科学研究所も候補とする。これら4候補に支部長と庶務幹事で順位をつけて、順番に調整を行うこととした。

(3) 令和2年度総会・第3回講演会・見学会(3月ごろ)

近畿大学東大阪キャンパスでお願いすることにした。日本分光学会紫外フロンティア分光部会との合同で開催することも可とした。

(4) 年次大会について

本年度の年次大会の開催校は東京理科大であり、2021年度の開催校も決まっている。2022年度に関西支部に回ってくる。関西支部では、2010年度京都大学、2013年度大阪大学、2016年度大阪大学、2019年度京都大学で行ってきた。前回の議事録では神戸大学に打診することになっていた。

- ・ 時期としては5月くらい。これまで土曜や日曜が会期に入っている場合があり、会場のご都合で決めていただいてもよいはずである。17日の理事会で確認する。

笠原先生：神戸大学理学部を会場とすると、100名程度の部屋が2室とポスター会場1室と企業展示室をとるのが難しい。また、会期は3日間で、平日が入ってしまうことが難しい。ホールを2カ所借りてしまうとかなり費用がかかる。後日具体的な数字で連絡する。

蓮尾支部長：会場費が発生したケースは過去にもあるので、数字が分かった段階で本部に聞いてみる。引き続き神戸大学で検討いただくことをお願いするとともに、他の大学の方も年次大会の自校での開催について検討いただきたい。

7. その他

日本分光学会広報委員長の谷先生からご報告

- ・ 広報委員会の判断でメーリングリストの宛先に、メールが出せるので活用いただきたい。
- ・ ホームページについてはまだ十分でないところがあるので、お気づきの点があれば修正したいので連絡いただきたい。
- ・ 以前はホームページを運営している会社に依頼して内容を変更してもらっていたが、新しくなったホームページは広報担当者がCMSという機能を使って変更可能。以前よりはタイムリーに変更できる。ただしフレームワークの作成はホームページを運営している会社に依頼する必要があり、経費が発生する。
- ・ 共催、協賛・後援の申請について新しい様式を使ってほしい。日本分光学会では協賛と後援は区別していない。協賛と後援については、経費は負担しない。共催については、学会からも費用を負担して、相手先からも出してもらって開催するというもの。名前貸しだけの共催はできない。
- ・ 学会申し込みについては自動化しようとしている。日本分光学会は財政的に厳しいので、事務は錦織さんが一人だけになっている。できる限り負担を小さくしたい。代議員の登録についても電子システムにしたいと考えているが、規約の変更が必要である。
- ・ 不達のメールリストについては、学会のホームページに本人から言っていたかかないといけない。学会誌を送付する際に改めて登録の更新をお願いするようにしたい。

蓮尾支部長よりコメント

- ・ 関西支部のホームページを日本分光学会のホームページに移行するのか、そのまま独自のホームページとするのかについては、継続検討事項とした。

以上